

**2026 年度 一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会
定時評議員会（社員総会）議事録**

日 時：2026 年 6 月 12 日（金） 17:40~18:40

場 所：ウィンクあいち（愛知県名古屋市）

出席者：会場出席 178 名 委任状提出 38 名

議 長：平田 敬治理事長

出席理事：有賀 智之 奥川 喜永、川崎 優子、久保 真、隈元 謙介、小林 佑介、
下平 秀樹 田辺 記子、中島 健、中山 佳子、平沢 晃、門馬 智之、
山口 達郎、吉田 玲子

出席監事：石川 秀樹、鈴木 眞一

陪 席：寺本 俊孝司法書士

議長の平田理事長より評議員総数 238 名のうち、会場出席 178 名、委任状の提出が 38 名（白紙委任 1 名）あり、本評議員会の決議が定款第 24 条により行うことができることが宣言され、本会が成立することが確認された。

I. 審議事項

第 1 号議案 2025 年度収支決算に関する件

第 2 号議案 名誉理事長・名誉会員・特別会員の推戴に関する件

名誉理事長推戴候補者

石田秀行

名誉会員推戴候補者

藤原俊義

特別会員推戴候補者

高山哲治 福永 睦

第 3 号議案 第 33 回、第 34 回学術集会会長に関する件

第 33 回学術集会

会長：東京科学大学大学院 総合外科 有賀智之

会期：2027 年 6 月 18 日・19 日、場所：東京浜松町コンベンションホール

第 34 回学術集会

会長：平沢 晃（岡山大学 臨床遺伝子医療学分野）

今井 芳枝（徳島大学 がん看護学分野）

会期：2028 年 6 月 9 日・10 日、場所：岡山コンベンションセンター

以上について、第 1 号議案~第 3 号議案全てが承認された。

II. 報告事項

1. 平田理事から、2025 年度事業報告・庶務報告および 2026 年度事業計画について報告があった。

2. 各種委員会報告

①会則委員会

門馬理事より、名誉会員・特別会員推戴の運用整理、ガイドライン委員会規約改定の確認、定款細則の改定、作業部会委員会内規の確認について報告があった。

②編集委員会

小林理事より、投稿状況、審査状況および刊行状況について報告があった。

③学術教育委員会

吉田理事より、第 31 回、第 32 回学術集会での教育セッション、市民公開講座（北九州、愛知）、MGPT 手引き英語版の HP 掲載、今後の市民公開講座の予定について報告があった。

④専門医・HTC/FTC 制度委員会

隈元理事より、第 9 回（2025 年度）遺伝性腫瘍専門医認定試験結果、遺伝性腫瘍専門医更新結果、正規遺伝性腫瘍指導医申請・認定結果、認定専門医・指導医・研修施設の累計数、遺伝性腫瘍専門医のための E-learning 講座の新コンテンツ作成について報告があった。

川崎理事より、遺伝性腫瘍コーディネーターの移行申請・経過申請・更新申請・認定試験の結果、家族性腫瘍カウンセラーの更新申請の審査結果、ならびに第 32 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会においての単位対象セッションについて報告があった。

⑤遺伝性腫瘍セミナー委員会

中島理事より、第 28 回遺伝性腫瘍セミナー・第 4 回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー開催報告、ならびに第 29 回遺伝性腫瘍セミナー・第 5 回アドバンストセミナー開催予定について報告があった。

⑥将来検討委員会

平田理事長より、学術集会開催形式に関するアンケート結果について報告があった。

⑦倫理審査委員会

奥川理事より、第 31 回、第 32 回学術集会演題の倫理審査状況について報告があった。

⑧COI 委員会

久保理事より、利益相反状態開示に関する指針・細則の大幅改定、対象者の拡大、開示項目の追加、診療ガイドライン策定参加者の管理、組織 COI の導入について報告があった。

⑨ガイドライン委員会

平沢理事より、委員会規約の整備、各種ガイドライン作成・改訂に関する情報共有、Minds 診療ガイドライン作成支援サービスの活用、学会ホームページにおけるガイドラインリンク集改訂について報告があった。

⑩広報委員会

有賀理事より、2025 年度の委員会活動、News letter 発刊状況、学会ホームページの更新について、ならびに 2026 年度の活動予定について報告があった。

⑪国際委員会

山口理事より、第 6 回トラベルグラント賞選考結果報告、遺伝性腫瘍関連国際学術集会の会員向け配信について報告があった。

⑫臨床委員会 Lynch 症候群委員会

山口理事より、レジストリ研究の進捗（一括審査の準備）および診療ガイドライン策定状況、Lynch Syndrome Forum2026 開催予定について報告があった。

⑬遺伝カウンセリング委員会

田辺理事より、がん医療者向け啓発動画の学会サイトへの移行、第 32 回学術集会における本委員会企画、第 34 回日本乳癌学会学術集会における本委員会との合同シンポジウム開催について報告があった。

⑭作業部会委員会

中山理事より、LFS 部会・Cowden 症候群部会、SPS 部会、PJS 部会、ならびに遺伝性びまん性胃癌部会（HDGC）部会の活動状況について報告があった。

⑮保険診療委員会

吉田理事より、R8 年度診療報酬改定に向けた共同作業による最終提案書の提出、反映された R8 年度診療報酬改訂内容（遺伝カウンセリング加算の「医学管理料」区分としての新設、BRCA1/2 検査とがん患者指導管理料の対象拡大）、ならびに R10 年度診療報酬改訂に向けた活動予定について報告があった。

⑯評議員選出委員会

門馬理事より、2028 年度の一斉選出に向けた要件見直しの検討状況について報告があった。

3.第 32 回学術集会報告

井本会長より第 32 回学術集会の開催状況について報告があった。

4.第 33 回学術集会報告

有賀会長より第 33 回学術集会の開催準備状況について報告があった。

5.第 34 回学術集会報告

平沢会長・今井会長より第 34 回学術集会の開催準備状況について報告があった。

6. 臨床委員会 遺伝性乳癌卵巣癌症候群委員会の設置について報告があった。

平田理事長から、名誉理事長・名誉会員・特別会員へ推戴状が授与され、第 32 回学術集会井本逸勢会長に感謝状が贈呈された。

以上